

令和7年度 病虫害防除情報

令和7年5月23日

発表：福島県病虫害防除所

果樹カメムシ類の誘殺数が多いほ場が散見されます！

今後の果実被害に注意してください！

- 1 対象作物：果樹類
- 2 病虫害：果樹カメムシ類
- 3 対象地域：全域

発生状況等

- (1) フェロモントラップ調査における4月5半旬～5月4半旬の果樹カメムシ類の越冬世代の誘殺数は、8地点中5地点（福島市大笹生・福島市飯坂町・国見町・会津坂下町・相馬市）で、平年と比較して2～19倍と多い状況です（別紙）。また、5月中旬に誘殺数が増加している地点もあり、越冬世代の果樹園への飛来が6月以降も続くことが予想されます。
- (2) 5月の巡回調査や防除員、農林事務所からの情報では、果樹カメムシ類のモモ、リンゴ、ナシ園地への飛来や果実被害が確認されており（写真1、2）、今後も被害の拡大が懸念されます。

防除対策

- (1) 園地への飛来を確認した場合は、農作物病虫害防除指針や地域の防除暦を参考に早急に薬剤（有機リン剤、合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤）を散布しましょう。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数などの農薬使用基準を遵守してください。
- (2) 果樹カメムシ類は移動性が高いので、防除効果を高めるため、できるだけ地域で一斉防除を行いましょう。また、合成ピレスロイド剤や一部のネオニコチノイド剤は、天敵に影響があるため、ハダニ類やカイガラムシ類などの多発を引き起こすことがあるので注意しましょう。
- (3) 果樹園周囲のキリ、クワ、クズ、ハギなどは、カメムシ類の食草となり、次世代の発生に結びつくので、これらを除去するなど適切な管理を行いましょう。
- (4) 夏季に発生する次世代成虫の動向についても、園地の飛来状況や当防除所の定期予報等を参考に警戒してください。



写真1 モモ果実上のクサギカメムシ
(令和7年5月16日撮影、伊達市梁川町)
(県北農林事務所伊達農業普及所提供)



写真2 モモの果実被害
(令和7年5月20日撮影、国見町)

●本情報の内容に関する質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709

FAX 024-958-1727